

• 193: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 青葉山公園整備推進費について、順次伺います。

また、関連して他局にまたいで伺いますので、委員長、御配慮をお願いいたします。

青葉山公園は、片倉小十郎屋敷跡地や杜の都仙台として魅力ある自然環境を活用しながら、来訪者が仙台らしさを感じる杜の都のシンボルとして整備するわけではありますが、約30年と総事業費218億円をかけているわけでもあります。そして、新年度は全国都市緑地フェアを誘致する中で、該当場所の魅力創出は極めて重要であります。

そこで、改めて全体の整備計画と、今日までさまざまな御苦勞があったと思いますが、どのようなことがあったのかをお伺いいたします。

• 194: ○公園整備担当課長

検索語: なし

○公園整備担当課長 青葉山公園整備事業の全体計画につきましては、平成9年3月に策定いたしました青葉山公園整備基本計画に基づき、これまで国際センター地区の園路、広場等の整備や、国史跡指定地区の本丸石垣修復、長沼、五色沼等の護岸、園路などの整備を完了しており、現在は追廻地区の（仮称）公園センター周辺の整備を進めているところでございます。

この間、事業推進に当たりましては、追廻地区にお住まいであった多くの方々の移転の問題や、国や県などの関係機関との調整などの課題があったところでございます。

• 195: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 課題ということで、追廻地区600世帯の住民の方々に移転交渉を重ね、あと残り1件ということになっておりますけれども、そこについては過去にも伺っておりますので、順次丁寧な対応と早期の対応を求めたいというふうに思います。

今ほどお示しをいただきました（仮称）公園センター地区整備の進捗、新年度、この進捗についてどのようになっているのかを確認をさせていただきます。

• 196: ○公園整備担当課長

検索語: なし

○公園整備担当課長 新年度、（仮称）公園センターの新築工事に本格的に着手する予定であり、公園センター地区の整備につきましては令和4年度の完成を目指しているところでございます。

• 197: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 新年度からスタートして令和4年度ということで、私も時の常任委員会にいましたので、パブコメ等を含めさまざまな意見があって、ここの整備については冒頭でも言いましたけど来年度、全国都市緑地フェアを開催する中で、開催するときには勾当台公園、庁舎建てかえもあって、難しい状況も重ねてありますので、ここの部分、しっかり整備をしていただきたいというふうに思います。

この展示センターの中身、展示物などもしっかりとした形で整備をした後、示されなければいけません。ここの公園整備というのを点的に考えるのではなく、面的に整備をしなければい

けない。ここに足を運んだ人が、ここを起爆剤にさまざまな方面に行っていただくということ  
を仕掛けなければいけません。その辺の考えと、財政との連携などというのはどのようになっ  
ているのかを確認をさせていただきます。

• 198: ○公園整備担当課長

検索語: なし

○公園整備担当課長 (仮称) 公園センターは、青葉山公園のエントランスとして、ビジタ  
ーセンターの機能はもとより、仙台、青葉山の歴史、文化、自然の魅力を発信する機能を持つ  
ことが重要と考えてございます。

展示につきましては、観光客や市民の皆様に興味を持ってもらえる魅力的な内容で、何度来  
ても新鮮で、ここでしか体験できないプログラムを提供できるよう、財政等との調整をしなが  
ら検討しているところでございます。

• 199: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 なかなか仙台市の財政は厳しい状況でございますので、引き続き強い決意  
を持って財政局との交渉に臨んでいただければというふうに思います。

ここの整備を語る上で、繰り返しになりますけど、点的整備ではだめだということで、大手  
門の復元についても過去、議会でも質疑をさせていただいております。大手門復元の中で、大  
きな課題として交通量の課題がございました。そして、新年度では交通量調査をしていただき

ました。その経過について、どのようになっているのか関係局にお伺いをいたします。

• 200: ○文化財課長

検索語: なし

○文化財課長 仙台城跡周辺の交通量調査につきましては、関係部局からアドバイスを受けながら実施したところであり、今月中に調査結果を取りまとめる予定でございますので、大手門復元に係る課題の検討に生かしてまいります。

• 201: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 大手門復元の課題検討に生かしてまいるということでございますが、先ほど同僚委員が八木山地域の魅力ということでお伺いをしました。地下鉄東西線もできて、そこに通う人たちというのは交通アクセスが大分変わっているというふうに思っておりますので、交通量調査をしっかりとさせていただいて、実現できるように鋭意努力をお願いしたいというふうに思います。

復元を語る上で、大手門については3条件が整っているということであります。しかしながら、大手門、門をつくっても、そこに上がっていった結果、あの騎馬像だけでは寂しいということで、元同僚議員が議会質問で、VRであれば早急にできるということで、VRの整備をしていただきました。昨年の4月からこの事業はスタートしておりますけれども、その事業評価と、実際に携帯電話を使って歴史的まち並みが見れるような状況になっておりますけれども、それを体験した皆様のお声というのは、どのようなお声が届いているのか、確認をさせていた

だきます。

• 202: ○文化観光局長

検索語: なし

○文化観光局長 本市では、回遊性促進のために、仙台城跡や芭蕉の辻など市内6カ所において、その場所を訪れた方々が藩政時代のまち並みや建物など、VR、バーチャルリアリティーによりスマートフォンで体験できる取り組みを行っております。天守台においては、伊達武将隊が観光客の皆様へVRの使い方を教えるなど、PRに努めた結果、多いときには月4,000人を超える閲覧者数となっております。

実際にごらんいただいた方からは、タイムスリップしたようで面白いなどの声もいただいております。本市の歴史的な魅力の発信につながっているものと考えております。

• 203: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 本当に今利用した方の声、タイムスリップしておもしろい、本当に過去をさかのぼれば150年前にはあったということでもありますから、たった150年前ですからね、早期にまたこれは実現できるように、しっかりと求めていきたいというふうに思っております。

青葉城址、また青葉城公園の魅力を語る上で、青葉城址の地権者の理解、言うまでもなくその御理解は必要不可欠であるというふうな認識を持っております。ちなみに青葉城では、そっちは有料コンテンツではありますけど、スマートフォンではなく、はめるタイプを使って歴史

的まち並みを再現しておりますけど、実は打ち合わせをしている中で、なかなかこれ経験している人がいなかったという職員が多かったので、私の質疑を受けて、ぜひに行ってみてくださいということをお願いをしておりましたので、行かれた方の御感想を聞きたいというふうに思いますので、よろしくお願いいたします。

- 204: ○文化観光局長

検索語: なし

○文化観光局長 伝聞になりますが、文化観光局の職員が体験しております。仙台市が提供しているものはスマートフォンでやるものですが、青葉城資料展示館におきましては専用のゴーグルをはめてやるということで、没入感というか、そういった臨場感が非常に素晴らしいということで、体験した職員によると、ゴーグルを装着しているため臨場感があり、また音声解説があるということで、歴史に対するより深い理解ができたということをおっしゃっていました。

- 205: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 局長、伝聞ということでございましたので、私でよければ御案内させていただきますので、ぜひ一緒に体験をしていただいて、本当にあそこの中で音声ガイドを受けながら、まさしく懸造の復元のところを見ると、まあここにこれがあったらどれだけの観光客が来るのかななんて、本当に素直に受けとめましたし、今回実は学生を受け入れておまして、学生に体験をさせましたら、こういうまちだったんですねということで、本当にきらきらした目で伝えていたことがありましたので、このこともお伝えをさせていただきたいというふ

うに思います。

繰り返しになりますけど、青葉山公園整備と青葉城の魅力創出は、本市の観光客増減に大きく反映すると考えております。周辺のまちづくりにおいては、各局の連携が必要不可欠でございます。各局での仙台のシンボルとは何か、お伺いをいたします。教育局では文化財の視点、文化観光局ではまさしく観光の視点、まちづくり政策局においてはまちづくりの視点、建設局では今回の公園整備、そして都市整備局では都市整備の観点から、5局にお伺いをしたいと思っております。

• 206: ○まちづくり政策局長

検索語: なし

○まちづくり政策局長 現在の総合計画におきましては、青葉山、国際センター地区を国際学術文化交流拠点と位置づけまして、国際センターの展示棟ですとか青葉山公園の整備を進めてきたところでございます。

次期総合計画の策定に向けて検討中の総合計画審議会におきましては、本市の都市個性の強みを生かしたまちづくりについて現在議論が行われているところでございますが、当該エリアは豊かな自然環境や学都を象徴する教育機関、歴史資産などが集積しておりまして、杜の都の風格が感じられる重要な地区であるというふうに認識をしております。

今後も審議会での議論を踏まえながら、関係各局との連携のもと、当該エリアの特徴を生かした取り組みを進めてまいりたいと存じます。

• 207: ○文化観光局長

検索語: なし

○文化観光局長 インターネットにおきまして、仙台観光というような検索をしますと、伊達政宗公の騎馬像の画像が数多く表示されることや、また仙台市が運行しております一ふる仙の乗降者数は、仙台城跡の停留所が最も多いということなどから、観光の視点においては伊達政宗公の騎馬像を含めた仙台城跡が仙台のシンボルであるというふうに認識しております。

文化観光局では、仙台城跡においてVRを公開しているほか、土日を中心に伊達武将隊が観光案内をしており、引き続き仙台城跡の魅力を多くの観光客の皆様が発信してまいりたいと考えております。

• 208: ○都市整備局長

検索語: なし

○都市整備局長 都市整備の視点でございますが、仙台城跡や青葉山公園を含めた地下鉄東西線の国際センター駅周辺のまちづくりにつきましては、東西線沿線まちづくりの基本方針におきまして、国内外から多くの人が集まり、新たな交流が生まれる学術文化交流拠点の形成を目指すこととしております。

今後とも仙台城跡や青葉山公園、博物館、国際センターなど、文化、観光、交流の中心となる施設等へのアクセスや回遊性の向上を図るとともに、関係部局と連携しながら、この地域のさらなる魅力の向上に努めてまいります。

• 209: ○建設局長

検索語: なし

○建設局長 建設局といたしましては、仙台の礎である仙台城跡を含む青葉山と広瀬川に囲まれた区域につきまして、藩政時代からの歴史的、文化的資源や、すぐれた自然環境を生かしながら、市民の皆様や本市を訪れた方々が親しむことのできる杜の都のシンボルとなる公園として、整備を着実に進めてまいりたいと考えております。

• 210: ○教育長

検索語: なし

○教育長 仙台城につきましては、藩祖伊達政宗公が青葉山とその一帯の自然地形を巧みに利用して築いた、我が国を代表する城郭跡の一つでございます。国指定史跡としての高い評価を得ているところでございます。

このような文化財としての歴史的価値に加え、現代まで続く市民の心のよりどころとしての価値も有するものでございまして、仙台城跡は本市のシンボルと呼ぶにふさわしい場所であると認識してございます。

• 211: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 5局から御答弁いただきまして、ありがとうございます。

ことは真田丸以降久しぶりに大河ドラマが戦国時代の中身になっております。そういった意味でも、機運が高まっていくというふうに思っております。

今回、公園整備ということで伺っておりますので、ここで市長に聞くのが普通なんだろう

けど、その前に建設局長も歴任をされた高橋副市長から、この議論を聞いてどのように思うのか、そして仙台のシンボルを明確にお答えしていただければ、後輩としてはありがたいというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

• 212: ○高橋副市長

検索語: なし

○高橋副市長　　今御指名ですからお答えしますが、青葉山公園に関しましてはやはり歴史、文化、自然の象徴だというふうに感じてございます。その魅力を、今各担当局長が答えたように、ソフト、ハードの面でコラボレーションというか、きちんと整備を進めていけば、やはり観光客の方、あるいは市民の方々が愛おしむ場だというふうに思っております。私から言うと、シンボルというとやはりあの大橋のたもとに立ったときに、圧倒されるような雰囲気が出るような青葉山であれば、皆さん方も訪れるんじゃないかというふうに思っております。

• 213: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　　私も時の一般質問の中で、目をつぶって、大橋から青葉城の景色を見たときに、そういったまち並み、まさしくVRで再現されたまち並みができれば、どれだけ仙台らしさというものができるのかというふうに常々言っております。それは今も変わらず、これからもしっかりと実現するまで、私が生きている限り発信をしていきたいというふうに思います。

各局、ハード、ソフトの思いを伝えていただきまして、杜の都のシンボル、そして仙台のシンボル、まさしく仙台らしさになるように、市長の御所見をお伺いいたします。

• 214: ○市長

検索語: なし

○市長 青葉山公園は、仙台城跡を初めとする藩祖伊達政宗公ゆかりの歴史的風土、また青葉山や広瀬川の豊かな自然、そして博物館や東北大学などの本市の魅力を代表する多くの資源が集中しているところでございます。杜の都の原点、象徴の場所として、大変重要であると認識をしております。

(仮称)公園センターの計画に当たりましては、多くの市民の皆様方の御意見を取り入れまして、十分かつ慎重に議論を進めてきたものでございまして、市民の皆様とともに作り上げてきた事業であると、このように感じております。

新年度は、いよいよ建築工事に着手をすることになります。引き続き杜の都仙台の魅力を最大限発信できるように、力を尽くしてまいりたいと存じます。